

地震が発生した! 10のポイント

地震時の行動

地震だ! まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階(概ね10階以上)での注意点】

- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



落ち着いて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀など高さのあるものには近寄らない

屋外で揺れを感じたら、門や塀など高さのあるものには近寄らない。



確かめ合おうが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、身の安全を確保した上で救出・救護する。



正しい行動 確かな行動

町、消防署、ラジオやテレビなどから正しい情報を得る。



避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、地区避難所や広域的避難所に避難する。



地震直後の行動

地震後の行動

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

地震に備えよう! 10のポイント

身の安全の備え

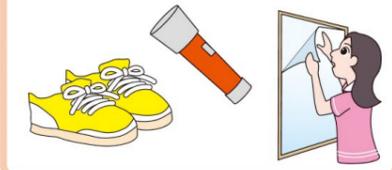
家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策をしておこう

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに見える場所に置いておく。
- 散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



家屋や塀の強度を確認しておこう

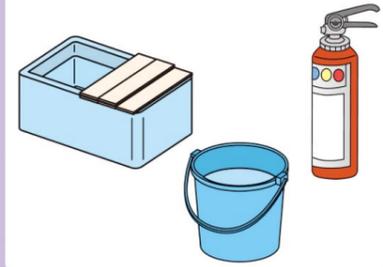
- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- 家周辺のフェンスや塀などは、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

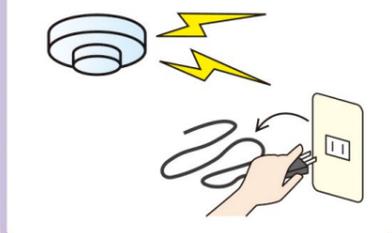
消火の備えをしておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き(溺れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする)をしておく。



火災発生時の早期発見と防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。



非常用品を備えておこう (45、46ページ参照)

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節に応じた用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー(PSEマーク付)など、必要な電源を確保しておく。



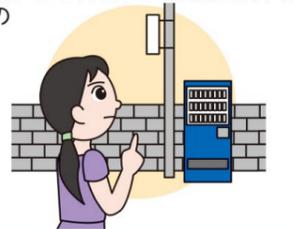
家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておこう。



地域の危険性を把握しておこう

- 町の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



確かな行動の備え

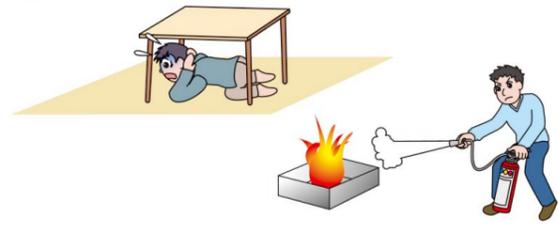
防災知識を身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 町・消防署などが実施する講演会や座談会などに参加し、過去の災害の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を高めておこう

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防御、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。



災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え